

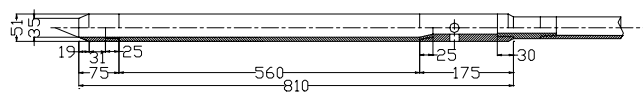
標準貫入試験（N値測定）

目的

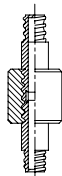
標準貫入試験は、JIS - A - 1219 に規定された原位置試験であり、建築・土木設計に極めて重要となる「N値」を求めるために行われる試験である。

使用機器

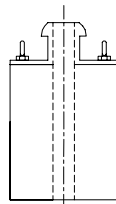
標準貫入試験に必要な装置は、以下に示す各種機器から構成される。



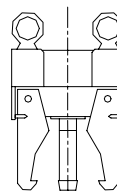
標準貫入試験器（レイモンドサンプラー）



ノッキングヘッド



モンケン（63.5kg）



キャッチャー



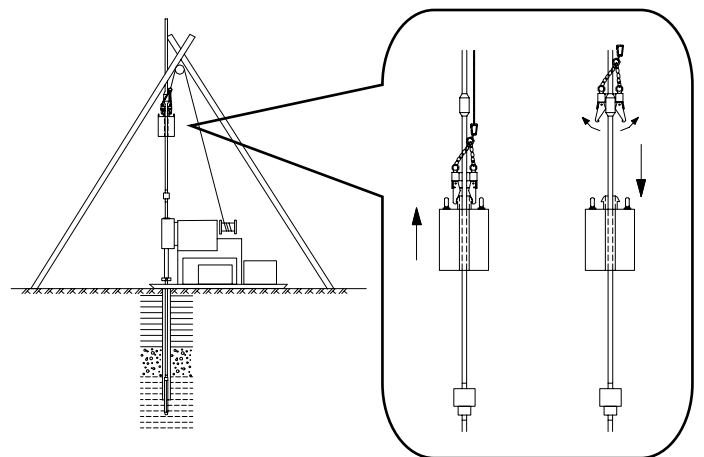
リリースカップリング

試験方法

試験の準備は、まずボーリング孔内にレイモンドサンプラーを装着したボーリングロッドを試験深度の孔底まで降ろす。地上部では、ノッキングヘッドやリリースカップリング、モンケンをそれぞれ装着する。

試験は、モンケンを75cmの高さから自由落下させ、30cm貫入するのに要した打撃回数を測定する。記録は10cm貫入する際の打撃回数毎とし、30cm貫入に要した打撃回数の総数がN値となる。なお支持層などの硬質地盤や密に締まった地盤では、打撃回数の上限を50回（または60回）とし、30cm未満の総貫入量を記録する。

標準貫入試験で得られた土質試料は、室内土質試験（物理試験）に利用される他、土質判定の基礎資料としての利用や土質標本など有効活用される。



標準貫入試験の概要図